

# 学生×地域サポーター「SBC」

- ・CLL報告会を開催
- ・「CLL取材」を実施
- ・倉陵祭にて展示ブースに出展
- ・「伊勢志摩で共に暮らし続けること」のミライを考えあうシンポジウムを開催
- ・「CLL1000人記念写真」を撮影
- ・オープンキャンパスの高校生対象「CLL活動学生相談カフェ」を開催
- ・「SBC」公式のFacebook並びに「Twitter」アカウントを開設
- ・新入生対象「CLL活動学生相談カフェ」を開催
- ・キックオフミーティング

2017 4 5 6 7 9 10 1 2

## ◆今年度の活動を振り返って（成果と課題）

本活動は、3つの目的によって発足しました。**ひとつ目**は、「CLL活動に参加する学生を学部学年関係無くもっと増やしたい」、**ふたつ目**は「CLL活動同士がもっと繋がりたい」、**最後に**「CLL活動と地域をもっと繋げたい」です。他のCLL活動とは違い、連携する自治体はありません。CLL活動のためのCLL活動であり、CLL活動の運営局のような役割を担っています。最初の活動は、1～2年生を対象にドリンクを飲みながら説明会を開催しました。CLL活動は、部活動・サークル活動などと違って認知度があまり高くありません。そのため、なるべく目立つように9号館前の中庭で行いました。他にも、SBCのマスコットキャラクター「サトシ君」を設定するなど、親しみやすい印象を作るよう心がけました。その後は、カフェを開催したノウハウを元にオープンキャンパスや倉陵祭にも参加しました。また、それらの様子の写真をSNSにも投稿し、伊勢志摩圏域の人々にも宣伝を行いました。その結果、CLL活動の認知度が上がったと思います。大学内の他の機関ともつながりが出来たので、今後も続けていきたいと考えています。最後に、今年度の活動の締めくくりとして「CLL取材」を行っています。これは、SBCのメンバーが他のCLL活動に対して取材を行うというものです。取材内容は動画として記録し、今後SNSで発表する予定です。そして様々なCLL活動同士が、互いの活動を知るきっかけになればよいと考えています。さらに、取材する側とされる側両方が学生によって行われることで、CLL活動の学生の主体性を養いたいです。



## 特にアピールしたいポイント

今後のSBCは、CLL活動に参加する学生がもっと活動しやすい環境を作るための活動になればと考えています。そのため、他のCLL活動に参加しながらでも気軽にメンバーになって欲しいと思います。



担当教員：池山 敦（教育開発センター）